

山行報告書

日時	2015年4月25日(土)		天候	快晴
山名	小国郷山菜ハイク			
CL	林・諫山(登山)	参加者	下記	
(コメント)	<p>駒田・坂本・福田・藤原・徳永・前川・前澤・吉田・加来・熊谷・辻本・吉永・秋山・花田 高田・高藤 以上総勢18名</p> <p>25日、夫々の班毎に、花田号に食材買出し班、林号と高田号に山菜採り班に分乗して、古民家 風の里に向かう。 途中、花田号、林号が合流。小国郷近くの里山に入り、山菜を求めて山道进行。それらしき山菜は有る物の、時期的に遅かったり、既に採られてしまっていた。 林が以前、目に付けていた場所に着くと、食べごろの山菜が手付かずに残っていて、一斉に下車し、高枝切りに引掛掛けて採取。タラの芽を初めて目の当たりにして、棘に刺されながら楽しそうに袋に入れる。タラの芽が山菜の王様なら、コシアブラはさながら女王様であろう。思ってた以上の収穫に大満足。 風の里に着き、早速、竹藪に入ってタケノコ掘り。去年掘った経験者は、いとも簡単に掘りお越したが、初体験の辻本は一番美味しそうな処に鎌をあててしまう。 料理自慢の女性群は腕まくり。男性群は庭に宴会場設営と配膳にとり掛かる。 集合時間を大幅に遅れて高田号到着。手には袋一杯に山菜をぶら下げ自慢顔。 3台のガスコンロに火が点けられ、山菜テンプレの始まりとなる。そして、山菜以上に豪華な料理が所狭しと運ばれてきた。フランス、中華、馬刺し、掘りたてのタケノコ煮つけ等、日頃、口にしない料理に大満足。酒宴が始まった時は明るかった空も、下弦の月と宵の明星が輝いているのも忘れ、話と酒が尽きない大宴会となっていた。 やがて、屋外に大型スクリーンをセットして、ビンゴゲームを始める。始まって10分足らずで坂本が[ビンゴ]と叫ぶ。其の後は中々声が出ない。そして40分ほどして、7人がビンゴとなり、景品として用意していた皮革製キーホルダー、労山40周年記念品残りの、湯のみ、一輪挿しを引き当てた順に受け取る。 其の後、プロジェクターで2010年からの山行記録のダイジェスト版を映写する。ある人は、小さい時に学校で野外映画を見たとき以来で懐かしがっていた。映し出された5年前の自分に感嘆の声を発する人もいた。やがて、冷たい風が土蔵脇から流れてきて、居たたまれずリビングルームに逃げ込み、続けてダイジェストを見入る。 23時半の柱時計の鐘がなり、布団や持参した寝袋に入る。やがて、何処からともなく、いびきの合唱始まる。 早朝、登山、クライミング、ハイキングセミナーに散っていく。そして誰も居なくなった。 料理に腕を振るい宴会を盛り上げて戴いた人に感謝します。 記 林 俊一</p>			
費用概算	<p>車両費は各班毎に清算で不明 食料費は1500円/人</p>			

